

土の里まの里人
農業事業主

没後10年

きりきりき

吉里吉里忌

2020

ふるさと 山形 川西で
井上ひさしを語り継ぐ



土の里まの里人
山形市・曲尾村 農業事業主

写真
佐々木隆二

4/11(土)

第33回 遅筆堂文庫生活者大学校

13:15~17:00 (開場 12:30)

◆参加料 / 1,500円(税込)《18歳以下無料》

「家族農業 再評価の動き」

◆講師：関根 佳恵 (愛知学院大学経済学部准教授 / 家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン常務理事)

山下 惣一 (農業 / 作家 / 生活者大学校教頭)

4/12(日)

第6回 吉里吉里忌

12:30~16:00 (開場 12:00)

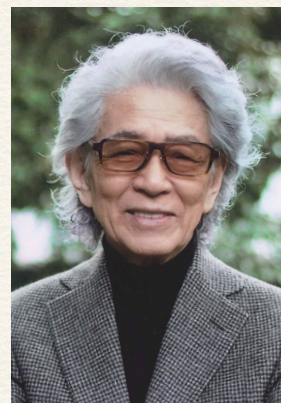
◆参加料 / 1,500円(税込)《18歳以下無料》

講演

「井上芝居の魅力」

◆鶴山 仁 (舞台演出家)

聞き手：山口 宏子 (朝日新聞記者)



「井上ひさしさんと私」

◆五木 寛之 (作家)

4/11(土)

交流会

※事前予約必要です

【時間】 17:45~19:15

【会場】 JA 山形おきたま本店2階

【参加費】 4,000円(税込)

■主催：吉里吉里忌実行委員会 / 山形県川西町 / 井上事務所

■後援：山形県 / 岩手県大槌町教育委員会 / こまつ座 / 文藝春秋 / 新潮社 / 講談社 / 集英社 / 岩波書店 / 中央公論新社 / 小学館 / 白水社 / 筑摩書房 / 河出書房新社 / 家の光協会 / 平凡社 / 光文社 / PHP 研究所 / 早川書房 / 毎日新聞社 / 読売新聞社 / 朝日新聞社 / 河北新報社 / 山形新聞 / 山形放送 / 山形新聞 / 神奈川新聞社 / 日本文藝家協会 / 日本ペンクラブ / 日本劇作家協会 / 仙台文学館 / (公財) 市川市文化振興財団 / 県立神奈川近代文学館 / (公財) 神奈川文学振興会 / (公財) 鎌倉市芸術文化振興財団 / 一関・文学の蔵 / 吉野作造記念館 / かまくら春秋社

【お問い合わせ・お申し込み】 川西町フレンドリープラザ 〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松 1037-1

TEL.0238-46-3311 FAX.0238-46-3313 E-mail. info@kawanishi-fplaza.com





きりきりき 吉里吉里忌

没後10年 2020

会場：川西町フレンドリープラザ

※定員に達ししだい締め切らせていただきます。

4/11(土) 13:15~17:00 (開場 12:30)
◆参加料 / 1,500円(税込)《18歳以下無料》

第33回 遅筆堂文庫生活者大学校

「家族農業 再評価の動き」

今まで日本の農業は「大規模化しないから世界に立ち遅れる。農産物の値段も下がらない」などと散々叩かれてきました。しかし今世界中で、小規模の家族農業が見直されてきているのです。昨年からは国連「家族農業の10年」の日本におけるサポート活動が続ける関根佳恵さんをゲストに迎え、山下教頭とともに小規模・家族農業がなぜ見直されているのか、またこの動きが農村社会の衰退を抑えとどめるきっかけになりえるのかを考えます。

講師



関根 佳恵 (愛知学院大学経済学部准教授 / 家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン常務理事)

2011年京都大学大学院博士後期課程修了。博士(経済学)。2007~10年フランス国立農学研究所研究員。2012~13年に小規模農業に関する国連世界食料保障委員会の報告書執筆に参加。16年より現職。17年に小規模・家族農業ネットワーク・ジャパンを有志と設立。18年度、国連食糧農業機関(FAO)の客員研究員として、イタリア農業の調査研究に従事。19年に家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンの設立を呼びかけた。



山下 惣一 (農業 / 作家 / 生活者大学校教頭)

1936年、佐賀県唐津市生まれ。農業に従事しながら、小説、エッセイ、ルポルタージュなどの文筆活動続ける。69年『海鳴り』で第13回農民文学賞受賞。79年『減反神社』で第27回地上文学賞受賞。同作品は直木賞候補にもなる。国内外の農の現場を精力的に歩き、食・農をめぐる問題に、広い視野から常に農民の視点でユーモアたっぷりに発言し続ける。著書多数。『井上ひさしと考える日本農業(家の光協会)』を編集。昨年11月、共同代表を務める小農学会編で『新しい小農～その歩み・営み・強み～』(創森社)を出版したばかり。

交流会

講師らを囲んで地酒や郷土料理を楽しみます。どなたさまもぜひご参加ください。(要事前申込)

【時間】17:45~19:15

【会場】JA 山形おきたま本店2階

【参加費】4,000円(税込)

ご参加には
事前申込が
必要です。

吉里吉里忌は、2010年4月9日に永眠した井上ひさしを偲ぶ文学忌です。会場は、生まれ故郷である山形県川西町の「川西町フレンドリープラザ」。ここには井上ひさしの蔵書 22万冊を収めた「遅筆堂文庫」があります。自らが校長となって毎年開催してきた「生活者大学校」と、縁あるゲストがさまざまな視点から井上ひさしを語る「吉里吉里忌」の二つの催しを2日間にわたり開催します。

4/12(日) 12:30~16:00 (開場 12:00)
◆参加料 / 1,500円(税込)《18歳以下無料》

第6回 吉里吉里忌

司会 古屋 和雄



(元NHKエグゼクティブアナウンサー / 文化外国語専門学校校長)

オープニング

井上ひさし作品『水の手紙』 群読

出演：朗読倶楽部「星座」

第1部 13:05~14:05

講演 「井上芝居の魅力」



鵜山 仁 (舞台演出家)

演出家、文学座演出部所属。1953年、奈良県生まれ。慶応義塾大学フランス文学科卒業。舞台芸術学院をへて文学座附属研究所入所。82年に座員となり『プラハ1975』などを手がける。89年、『雪やこんこん』他で芸術選奨文部大臣新人賞、2004年、10年、16年に読売演劇大賞・最優秀演出家賞。10年には第60回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。近年の舞台に『化粧二題』『太陽の子』『Good People』『日の浦姫物語』などがある。

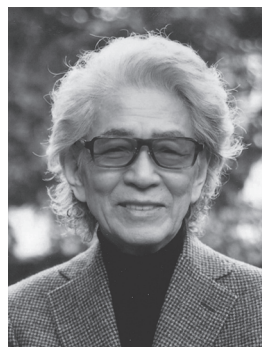
聞き手

山口 宏子
(朝日新聞記者)



第2部 14:20~15:50

講演 「井上ひさしさんと私」



五木 寛之 (作家)

1932年、福岡県に生まれる。戦後、北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966年、『さらばモスクワ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第56回直木賞、『青春の門』で吉川英治文学賞を受ける。2002年度第50回菊池寛賞、2010年、NHK放送文化賞、第64回毎日出版文化賞特別賞を受賞。小説以外にも幅広い批評活動を続ける。代表作に『風に吹かれて』『朱鷺の墓』『厳戒令の夜』『蓮如』『風の王国』『大河の一滴』『TARIKI』『親鸞』(全6巻)などがある。



お得な宿泊プランをご用意しております。

農協観光おきたま営業支店 営業時間 / 8:45~17:15(月曜~金曜)

お問い合わせは、(株)農協観光おきたま営業支店まで

TEL.0238-26-2545 FAX.0238-22-7214



- 東京から鉄道(山形新幹線・米坂線)利用で羽前小松駅まで最速約2時間30分
- 東北中央自動車道(東北道福島JCT経由)米沢北ICから20分

申込み・お問い合わせは下記まで

川西町フレンドリープラザ・遅筆堂文庫

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松1037-1

電話で▶ 0238-46-3311 (月曜を除く9時~17時)

※月曜祝日の場合は翌日

FAXで▶ 0238-46-3313

E-mailで▶ info@kawanishi-fplaza.com

※資料は吉里吉里忌公式ウェブサイトから入手できます。

@kiri_kiri_ki_Hi

井上ひさし「吉里吉里忌」

吉里吉里忌

検索